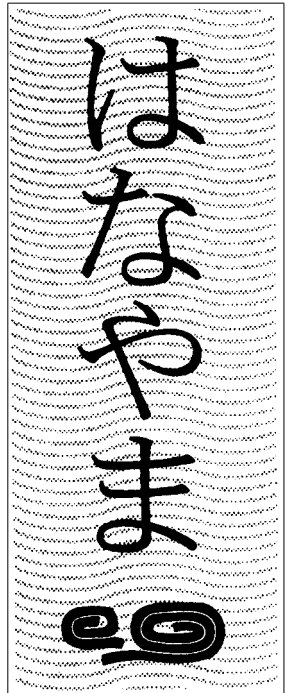


小山理事長を三選

平成22年度会 定期総会 公益法人化移行で説明



発行
社団法人
宮城県芸術協会
(郵便番号 980-0803)
仙台市青葉区国分町 3-3-7
宮城県民会館内
電話 (022) 261-7055
FAX (022) 214-5184
E-mail:miyagi-geikyo@sunny.ocn.ne.jp
編集 小山喜三郎

平成二十二年度の宮城県芸術協会総会は五月二十二日午後二時四十分からせんだいメディアテーク(青葉区)の七階スタジオシアターで開かれ、二十二年度の事業報告・収支決算、二十二年度の事業計画案・収支予算案を提案、全会一致で承認された。また公益法人化への移行について小山喜三郎理事長から説明があった。二年任期の役員人事は小山喜三郎理事長が決まった。総会前の午後一時三十分から約一時間、河北新報社社長一力雅彦氏による「東北新時代」と題する記念講演があった。

(3)5面に二十一年度の事業概要・収支決算、二十二年度の事業計画・予算案、2面に講演要旨を掲載)

承認された新役員

平成二十二年度の定期総会で承認された役員は次の通り。

(○印は新任)

▽理事長 小山喜三郎▽副理事長 高橋通子、早坂貞彦
▽常任理事 高橋威仙、栗石隆子、田村政晴▽理事 大場尚文、能島和明、佐藤淳一、橋本昌彦、池田櫻雲、中塚仁、朴澤一草、太田ゆり子、

高橋五郎、牛島富美二、菅原関也、鎌田宗州、佐々木光一、金成有造(河北新報社)

新評議員40人を推薦

任期満了となった評議員に先の理事会で次の各氏を新たに推薦した。(○印は新任)

吾妻篤、浅井元義、安住英之、阿部邦利、飯淵健一、桜井忠彦、佐藤朱希、志賀一男、

総会開会の前に、事務局から会員総数二千三百三十人、うち百二十二人が出席、委任状提出が千九百九十二人(計千三百十四人)で、総会が成立する旨の報告があった。

司会を栗石隆子理事が担当し、議長に朴澤一草理事、議事録署名人に前原正治(芸芸)、菅原宗玉(茶道)の両会員を選出。議案の二十一年度の事業報告と収支決算、二十二年度の事業計画案および収支予算案をそれぞれ担当常任理事から提案の説明があり満場一致で承認、可決された。

公益社団法人への移行について小山理事長からこれまで

▽監事 跡部高染、青山航、片倉義和(財カメイ社会教育振興財団事務局長)

早坂健、原秀一、及川茂、小関俊夫、浅野治志、近藤孝則、本間潔、太田蓮紅、工藤志香、嵯峨大拙、建部恭子、浜田堂光、門間翠葉、草刈光露、佐々木静月、丹野園園、西村一紗、本内一磯、姉齒けい子、稀音家六城遊、今野善

の取り組みと見直しについて説明があった。公益法人改革のポイントと芸協の取り組みや方向性、移行に伴うメリット・デメリット、移行する場合は二十四年度総会後までを四段階に分け作業を進めると説明した。芸協存在の基本にかかわることであり、総会資料の趣旨説明部分を別刷りで全会員に届けることになっている。

その後総会をいったん休憩し、その間に新理事による理事会を開催。理事長に小山喜三郎氏、副理事長に高橋通子氏と早坂貞彦氏を互選、総会に報告された。

夫、布田庸子、宮澤寒山、篠原城人、徳山高明、前原正治、高橋厚子、菊地南美、菅原宗玉、笹川義信、永井優、鈴木紳一(河北新報社)

参事に3氏を推薦

先の理事会で参事の推薦があり、次の三氏に理事長から委嘱された。

渡邊つる子、柏原眠雨、高橋吉勝



美術 (七宝)
安藤 令子氏

喜びの宮城県芸術選奨

昭和三十二年生まれ。平成七年から本格的に七宝工芸を始める。有線七宝のモダンな色調とギザ線の作り出すリズム感が特徴。繊細で格調高く造形感に秀でている。芸術選奨新人賞、日本伝統工芸展連続五回入選。蔵王町在住。

春夏秋冬さまざまな美しさを見せてくれる自然に感動して作品化している。なかでも昆虫のかみきり虫が美しいとさえ感じている。そこで自分の感性を信じつつ、自然豊かな蔵王で作品制作を続けていきたい。

感性を信じて制作

七宝の本場は名古屋だが、ここ宮城

河北新報社のプロフィール
白河北一山百文と蔑まれた東北の経済、文化の豊かさを復権するために、一力健治郎が経営難の「東北日報」を買収し不羈独立の精神で「河北」と改め、明治三十年一月創刊し、その理念をたらぬき現在に至っている。

地域に密着した取材によるさまざまなキャンペーンを掲載してきた。「植物人間」では介護する立場とその支援に目を向け、「スパイクタイヤ追放」は一人の読者の投稿を

「東北新時代」 —記念講演要旨— 河北新報社社長 一力 雅彦氏



機にその危険性を全国に発信した。
「オリザの環」は雲南省、ラオス、ネパール、アフリカなど各国を現地取材し、米作

を取りまく環境や現状を報告し農村の良さを訴えた。さらに日本の食と農政のあり方を思考し国政に働きかけた。
「デジタルメディア」
開かれた新聞社を目指し、

読者とのコミュニケーションを大切に育む努力をしている。役立つ新聞情報を簡単にネットから入手できる河北新報データベース「KD」ニュー

平成22年度版の 会員名簿を発行

東北新幹線の全面開通による利便性と、自動車産業の誘致などによる技術力のアップがもたらす地域の活性化を仙台が中心となり東北全体に広げていきたい。
東北の新時代を目指し提言するメディアとして、県境を越えた多様な発展の連携をはかり、地域からものを考える力になるのが新聞社の仕事である。
（記録・佐藤淑子）
このような事情を察し取り扱おうようお願いしたい。

平成二十一年度の宮城県芸術選奨を五人と一グループ、同新人賞一人が受賞、六月七日に東京エレクトロンホール宮城で授賞式が行われた。芸術協会員は芸術選奨一人だけだった。ほかの受賞者は畠山信行(洋画)、清岳(こう)(詩)、仙台ニューフィルハーモニー管弦楽団(器楽)、絵永けい(演劇)、いがらしみきお(メディア芸術)、新人賞は梶原さい子(短歌)の各氏である。

平成 21 年度 事業 報告

平成21年度は協会の創立45周年の節目の年であり、記念事業「芸術ふれあい広場Ⅲ」を行った。また、絵画部が中心となり、45周年記念展「絵画部門 草創期の10人～第1回宮城県芸術祭選抜美術展審査員～」をカメイ記念展示館と共催で実施した。

①宮城県芸術祭の開催

事業名	期日	会場	入場者数	出品点数等
開場式	9/25	せんだいメディアテーク5F	55名	
書道展	9/25～30	せんだいメディアテーク5・6F	2,716名	355点
工芸展	9/25～30	せんだいメディアテーク5F	1,972名	67点
芸術ふれあい広場Ⅲ	9/27	せんだいメディアテーク1F	—	
文学散歩	9/29～30	「北信濃路の文学紀行」	28名	
絵画展	10/2～14	せんだいメディアテーク5・6F	6,225名	日本画 61点・洋画243点
華道展	10/2～7	せんだいメディアテーク5F	3,735名	前期 32 後期32
彫刻展～彫刻部会員とその仲間展2009～	10/2～7	せんだいメディアテーク5F	2,685名	(会員) 20点 (仲間展) 7点
写真展	10/2～7	せんだいメディアテーク5F	2,563名	121点
茶会	10/11・18・25	輪王寺	993名	
音楽会	10/17	仙台市青年文化センター	486名	
長唄演奏会	10/18	仙台市民会館小ホール	157名	
文芸祭	10/31	東京エレクトロンホール宮城	72名	
「宮城県文芸年鑑」発行	10/15	—	—	*1,500部発行
絵画・書道展大河原展	10/22～25	仙南芸術文化センター	251名	日本画13洋画41書42
絵画・書道展登米展	11/12～16	登米市登米総合体育館	413名	日本画13洋画38書39
工芸展栗原展	11/7～10	栗原文化会館	141名	50点
写真展雄勝展	11/12～20	石巻市雄勝視伝統産業会館	137名	64点
閉会式	11/24	ホテル仙台プラザ	210名	

②芸術文化に関する展覧会、講演会、研究会、発表会の開催

事業名	期日	会場	入場者数	出品点数等
第14回杜の都大茶会	5/30～31	勾当台公園	7,841名	
県民との美術交流・人物クローキーク ・ギャラリートーク ・絵画楽園	10/10	仙台市戦災復興記念館	60名	
		せんだいメディアテーク5・6F	35名	
		せんだいメディアテーク5・6F	20名	
第16回石巻芸術文化祭・ みやぎミュージックフェスタin石巻	10/25	石巻市民会館	675名	*会員出演者5名
宮城の気鋭展	1/10～19	LBギャラリー	562名	24点
45周年記念展「絵画部門 草創期の10人～第1回宮城県芸術祭選抜美術展審査員～」	1/19～ 2/28	カメイ記念展示館	1,624名	
第30回音楽コンクールピアノ部門 ・予選 ・本選	2/21 3/29	ヤマハミュージック東北	(参加者)	
		カワイミュージックショップ仙台	99名	
		仙台市戦災復興記念館	35名	

③国内及び国外との芸術文化の交流

事業名	期日	会場	入場者数	出品点数等
東北・北海道交流書道展	6/3～7	東京エレクトロンホール宮城	325名	59点 (内当協会17点)
日・韓国際交流「仙台・大邱交流音楽会」	6/21	仙台市青年文化センター	786名	
宮城県・吉林省文化交流会	10/6	ホテルコムズ仙台	43名	

④研修会の開催

事業名	期日	会場	入場者数	備考
絵画部スケッチ研修会	5/16～17	秋田方面 (象湯・鳥海山)	41名	
講演会「東北の人～啄木と茂吉」講師：小池光氏	5/24	仙台市福祉プラザ	160名	
工芸・茶道部研修会	6/27～28	青森・弘前方面	21名	
第37回研修旅行	7/5～11	中国 (武陵源と馬王堆漢墓など)	15名	
書道部研修会「仙台筆-いま-」講師：大友博興氏	9/26	東京エレクトロンホール宮城	110名	

⑤機関紙「はなやま」の発行

事業名	発行号数	発行日	発行部数	内容
機関紙「はなやま」発行	180号	4/20	2,600部	・総会告知、新入会員紹介、各事業紹介等
	181号	6/25		・総会報告、平成20年度事業報告・収支決算、平成21年度事業計画案・収支予算案等報告等
	182号	11/30		・第46回宮城県芸術祭特集、45周年記念事業「芸術ふれあい広場Ⅲ」等各事業報告等
	183号	1/20		・第46回宮城県芸術祭事業・受賞者等報告等

平成 22 年度 事業計画

①宮城県芸術祭の開催

事業名	期 日	会 場	事業概要
開場式	9/24	せんだいメディアテーク 5 F	テーブルカットにより開場式を行う。
絵画展	9/24～10/6	せんだいメディアテーク 5・6 F	会員に発表の場を提供するとともに、県民・市民に対し芸術文化の鑑賞の機会を提供することにより、宮城県における芸術文化の振興発展を図る。 宮城県、仙台市、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、河北新報社、財団法人宮城県文化振興財団と共催。
華道展	9/24～29	せんだいメディアテーク 5 F	
彫刻展 ～彫刻部会員とその仲間展2010～	9/24～29	せんだいメディアテーク 5 F	
文学散歩	9/28～29	横手・角館・盛岡・花巻方面	
写真展	10/1～6	せんだいメディアテーク 5 F	
書道展	10/8～13	せんだいメディアテーク 5・6 F	
工芸展	10/8～13	せんだいメディアテーク 5 F	
茶会	10/10・17・24	輪王寺	
「宮城県芸芸鑑」発行	10/15	—	
長唄演奏会	10/17	仙台市民会館小ホール	
音楽会	10/26	仙台市青年文化センター	
文芸祭	10/30	東京エルカホール宮城会議室	
写真展蔵王展	10/14～21	蔵王町ふるさと文化会館	
写真展大和展	10/23～27	大和町まほろばホール	広く県民に鑑賞の機会を提供するため、県内各市町において「絵画・書道展」、「写真展」を開催する。
絵画・書道展東松島展	11/11～15	東松島市コミュニティセンター	
閉会式	11/18	ホテルメトロポリタン仙台	各部受賞者を顕彰し、芸術祭を閉会する。

②芸術文化に関する展覧会、講演会、研究会、発表会の開催

事業名	期 日	会 場	事業概要
第15回杜の都大茶会	5/29～30	勾当台公園	県内の茶道愛好者及び広く一般県民に茶道をアピールし、茶の湯文化の継承・発展に寄与するため開催。河北新報社と共催。
県民との美術交流・人物クロッキー ・ギャラリートーク ・絵画楽園	10/2	東京エレクトロンホール宮城会議室	絵画を愛好する初心者から上級者までを対象に、人物クロッキーの指導と作品の鑑賞。また、児童生徒を対象にした鑑賞会を行う。
	10/2	せんだいメディアテーク 5・6 F	
	10/2	せんだいメディアテーク 5・6 F	
みやぎミュージックフェスタ in 角田	6/27	角田市市民センター	会員に発表の場を提供するとともに、地域で活動する音楽家を支援し、地域に音楽鑑賞の機会を提供する。
宮城の気鋭展	1/10～10	L B ギャラリー	宮城県芸術祭絵画展の受賞者及び受賞候補者の作品を展示。
第 2 回絵画作品展	2/1～3/13	カメイ記念展示館	芸術協会に由来、または在籍者の絵画作品展を開催し、広く県民に鑑賞いただく機会とする。(財)カメイ社会教育振興財団と共催。
第31回音楽コンクール (ピアノ部門)	予選 2/20	仙台市震災復興記念館	宮城県の小・中学校児童生徒の音楽的資質向上に寄与するため開催する。
	本選 3/21		

③国内及び国外との芸術文化の交流

事業名	期 日	会 場	事業概要
東北・北海道交流短詩型文芸・色紙作品展	6/1～6	札幌市資料館 ミニギャラリー	東北・北海道の芸術文化活動を高めるため東北・北海道芸術文化団体協議会と共催し、「交流短詩型文芸・色紙作品展」を開催。
日・韓国国際交流「仙台・大邱交流書道・工芸展」	8/15～21	大邱文化芸術会館	当協会と韓国芸術文化団体総連合会大邱広域市連合会との芸術文化の交流を図り、両国の地域文化の向上に寄与する。

④研修会の開催

事業名	期 日	会 場	事業概要
絵画部スケッチ研修会	5/15～16	八幡平及び岩手山山麓	会員に研修の機会を提供し、もって創作・発表の活動に資するため実施する。
講演会「東北新時代」 河北新報社 代表取締役社長 一力雅彦氏	5/22 (総会)	せんだいメディアテーク	
第38回研修旅行	11/21～26	ラオス・ベトナム方面	
書道部研修会 (演題 未定)	10/10	東京エルカホール宮城会議室	

⑤機関紙「はなやま」・会員名簿の発行

事業名	期 日	会 場	事業概要
機関紙「はなやま」発行	年 4 回	—	会員への連絡等に資するため、機関紙「はなやま」及び、「会員名簿」を発行する。
「会員名簿」発行	6月下旬	—	

平成21年度収支計算総括表【決算】

(平成21年 4 月 1 日～平成22年 3 月31日)

科 目	合 計	一般会計	芸術祭会計	内部取引消去
I. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産運用収入	40,000	40,000	0	0
入会金収入	1,140,000	1,140,000	0	0
会費収入	23,910,000	23,910,000	0	0
負担金収入	13,752,200	0	20,394,512	△ 6,642,312
事業収入	9,619,325	6,682,700	2,936,625	0
助成金収入	1,040,000	740,000	300,000	0
寄付金収入	150,000	0	150,000	0
雑収入	279,999	144,999	135,000	0
事業活動収入計	49,931,524	32,657,699	23,916,137	△ 6,642,312
2. 事業活動支出				
事業費支出	35,756,821	18,482,996	23,916,137	△ 6,642,312
管理費支出	12,085,215	12,085,215	0	0
事業活動支出計	47,842,036	30,568,211	23,916,137	△ 6,642,312
事業活動収支差額	2,089,488	2,089,488	0	0
II. 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	0
2. 投資活動支出				
投資活動支出計	0	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0	0
III. 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	0
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0	0
IV. 予備費支出				
当期収支差額	2,089,488	2,089,488	0	0
前期繰越収支差額	15,326,436	15,326,436	0	0
次期繰越収支差額	17,415,924	17,415,924	0	0

平成22年度収支予算総括表【予算】

(平成22年 4 月 1 日～平成23年 3 月31日)

科 目	合 計	一般会計	芸術祭会計	内部取引消去
I. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産運用収入	40,000	40,000	0	0
入会金収入	1,200,000	1,200,000	0	0
会費収入	23,640,000	23,640,000	0	0
負担金収入	13,194,000	0	14,694,000	△ 1,500,000
事業収入	15,540,000	11,245,000	4,295,000	0
助成金収入	250,000	250,000	0	0
寄付金収入	240,000	0	240,000	0
雑収入	310,000	150,000	160,000	0
事業活動収入計	54,414,000	36,525,000	19,389,000	△ 1,500,000
2. 事業活動支出				
事業費支出	36,164,500	18,275,500	19,389,000	△ 1,500,000
管理費支出	17,850,000	17,850,000	0	0
事業活動支出計	54,014,500	36,125,500	19,389,000	△ 1,500,000
事業活動収支差額	399,500	399,500	0	0
II. 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	0
2. 投資活動支出				
投資活動支出計	177,480	177,480	0	0
投資活動収支差額	△ 177,480	△ 177,480	0	0
III. 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	0
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0	0
IV. 予備費支出				
当期収支差額	△ 17,415,924	△ 17,415,924	0	0
前期繰越収支差額	17,415,924	17,415,924	0	0
次期繰越収支差額	0	0	0	0

北海道 北 東交 北海道 交流

絵画は15点出品 札幌で短詩型文芸色紙展

東北・北海道交流短詩型文芸色紙展、風土を詠い描く、が六月一日から六日まで札幌市資料館で開催された。総会
は六月二日、会期中の来場者は五百十人だった。

県芸協会員の絵画十五点に、短詩型文芸がコラボする新しい試みだった。

絵画部門の出品者は原秀一、能島和明、早坂貞彦、大場尚文、飯淵健一、安住英之、阿部邦利、菊地義彦、佐藤朱希、跡部高染、浅井元義、志賀一男、吾妻篤、小山喜三郎、桜井忠彦の十五氏。

文芸部門の出品者は原田夏子、篠原城人、熊谷淑子、柏原眠雨、岩崎洋子、菅原関也、高野ムツオ、坂内佳禰、仁多見千絵、あきたじゅん、木田比呂朗、砂東美英子、牛島富美二、水月りの、色川幸子の十五氏。

また、当協会を除く北海道・東北五県の団体の絵画九十二点、短詩型文芸百二点も展示

された。好評を博して山形巡回展が六月十五日から七月十二日まで山形県芸文美術館で開催されることとなった。

「言葉のクロッキー」 10月30日に文芸祭

文芸部主催の文芸祭は平成二十二年十月三十日(土)東京エレクトロンホール宮城六〇一大会議室で午後一時三十分から開催されます。第一部は文芸賞受賞者の作品発

新緑の下、野点を堪能

第15回 記録上回る来場者 第15回 都大茶会



お手前を拝見し一服を楽しむ

第十五回都大茶会は五月二十九日、三十日の両日、仙台市青葉区の勾当台公園で開催された。初日は午後から霧雨が降る天候だったが、二日目は新緑が映える晴天で、過去最高の八千七百人の市民が野点を堪能した。

初日は煎茶文雅静庵流、石州清水流、玉川遠州流、江戸千家、武者小路千家、煎茶道三彩流、裏千家
二日目は煎茶道清泉幽茗流、遠州流茶道、大日本茶道学会、織田流煎茶道、宗徧流、表千家

「渡辺雄彦展」 8月1日まで開催

表。第二部は「言葉のクロッキー」。提示された「言葉」を限定された時間内で絵画のクロッキーのように言葉を綴っていく企画。好評につき今回も継続し一層の充実をはかる。従来は芸協文芸部員の出版物を展示していたが今回は取り止めとした。

「静物による空間の表現―渡辺雄彦展」が六月一日から八月一日まで仙台市青葉区五橋のカメイ五橋ビルで開催されている。二カ月に及ぶロングランである。

渡辺さんは県芸術協会顧問のほか河北美術展顧問や宮城教育大学名誉教授などに就かれています。これまで日展特選を二度受賞するなど静物画の名手として高い評価を受けており、今回の特別展では日展や日洋展への入選作、出品作を中心に宮教大退官後の一九九九年から二〇〇九年に描かれた作品を展示した。
空間表現の構成に軸足を置いてさらに研究を続けたいと抱負を語っている。

新 入 会 員

部門	氏名	住 所	電話番号
【彫刻部】	板 持 彰	984-0814 仙台市若林区南染師町49-2	211-6958
	山 中 ミサ子	981-8001 仙台市泉区南光台東二丁目31-17	251-0568
【茶道部】			
<裏千家>	見 玉 宗 陸 (陸子)	981-0902 仙台市青葉区北根三丁目6-28	271-6638
【音楽部】			
<長 唄>	杵 屋 彦道栄 (白石道子)	981-8001 仙台市泉区南光台東二丁目15-25	251-3108

主任・運営委員が交代 音楽部長唄

音楽部長唄で平成二十二年
度から主任と運営委員の一部

交代があった。
主任は吉住小とわさんが退
き、杵屋和加喜久さんが就任、
また運営委員の杵家弥島さん
が辞任し、杵家弥登鈴さんが
新任された。

事務局 日誌

会務報告

- 4・15 監事会
- 平成21年度業務内容及び一般会
計、宮城県芸術祭会計監査
- 4・19 理事会
- 平成21年度事業報告及び収支決
算について
- 会員の除名について
- 新入会員（正会員）の承認につ
いて
- 参事の委嘱について
- 監事の推薦について
- 評議員の推薦について
- 公益法人等検討委員会の総括報
告について
- 宮城県芸術祭賞の彫刻部門に菅
野美術館賞を設けることにつ
いて
- 5・22 理事会
- 理事長、副理事長及び常任理事
の互選について
- 事務局職員の事務分掌について
- 5・22 平成22年度総会
- 平成21年度事業報告及び収支決
算の承認について

(案) について

後援

- 平成22年度事業計画案及び収支
予算案の承認について
- 公益社団法人への移行について
- 理事及び監事の選任について
- 5・24 宮城県芸術祭委員会
- 第46回宮城県芸術祭「事業報告
と決算」について
- 第47回宮城県芸術祭役員(案)
について
- 第47回宮城県芸術祭事業計画
(案) について
- 第47回宮城県芸術祭予算(案)
について
- 第47回宮城県芸術祭授賞割当て
について
- 第47回宮城県芸術祭授賞割当て
について

会員の入賞・入選など

- ◇第65回春の院展入選
- (日本画) 大泉佐代子、毛利洋子
- ◇第45回日春展入選
- (日本画) 安住小百合、佐藤朱希、
菅井糸子
- ◇第74回河北美術展
- (日本画) ▽東北放送賞 ▽深村
宝丘 ▽宮城県芸術協会賞 ▽佐々木
宏美
- (洋画) 仙台市教育委員会賞 ▽
岩澤誠 ▽東北放送賞 ▽阿部好江

- ☆第40回宮城書芸院書展
5月19日～5月23日
大崎市民ギャラリー
- ☆二科会写真部宮城支部展
6月26日～6月30日
せんだいメディアアテーク
- ☆蔵王写生会
7月2日～7月7日
せんだいメディアアテーク
- ☆第45回チャールズ会仙台美術展
7月9日～7月14日
せんだいメディアアテーク
- ☆第56回全国公募図南書道展
7月15日～7月18日
宮城県美術館
- ☆第28回日本新工芸東北会展
7月16日～7月21日
せんだいメディアアテーク
- ☆第18回宮城独立美術展
▽宮城県芸術協会賞 ▽斎藤正和 ▽
藤崎賞 ▽鈴木千津 ▽菅野廉賞 ▽菅
原さち子
- (彫刻) ▽一力次郎賞 ▽山中ミ
サ子
- ◇第24回日本煎茶工芸展入選
黄檗賞 ▽(工芸部) (陶芸) 渡
邊榮
- ◇A. M. S. C. スペイン芸術
顕彰章メダル贈呈
- (洋画) 菅原慶子
- ◇スペイン国立プラド美術館財団
会員推挙 菅原慶子
- 7月16日～7月21日
せんだいメディアアテーク
- ☆第46回書禅会書展
7月16日～7月21日
せんだいメディアアテーク
- ☆第40回宮城書芸院書展教育部展
7月23日～7月25日
大崎市民ギャラリー
- ☆第33回仙台の四季を描く絵画展
7月30日～8月4日
せんだいメディアアテーク
- ☆第38回宮城野書道展
7月30日～8月4日
せんだいメディアアテーク
- ☆玄穹社社中展併催第3回玄穹社
学生展
8月6日～8月9日
せんだいメディアアテーク
- ☆第57回河北書道展
8月12日～8月17日
藤崎本館7階催事場・本館8
階グリーンルーム
- ☆第62回三軌会展東北展
8月13日～8月18日
せんだいメディアアテーク
- ☆尾形澄神書展
8月13日～8月18日
せんだいメディアアテーク
- ☆第35回宮城新協美術展
8月21日～8月26日
東京エレクトロンホール宮城
- ☆第46回宮城水彩展
8月20日～8月25日
せんだいメディアアテーク
- ☆第49回新洋会展
8月27日～9月1日

- せんだいメディアアテーク
- ☆第21回俳人協会東北俳句大会・
宮城大会
8月29日
ホテルメトロポリタン仙台
- ☆ここに響く名曲の調べ
9月12日
仙台市シルバーセンター
- ☆2010仙台オペラ協会第35回公演
「鳴砂」
9月19日～9月20日
東京エレクトロンホール宮城
- ☆歌曲のたのしみ～三塚典子ソプ
ラノリサイタル
9月28日
仙台市青年文化センター

受贈書

「風の中」(津田公子) 歌集「生く
る日」(原田夏子) 歌集「昼顔の
花が咲きました」(佐藤慶子) 歌
集「家族の息吹」(川田永子)

謹 申

- 文芸部 (短歌) 梅津絢子殿
2月26日
- 絵画部 (日本画) 川田功殿
4月5日
- 音楽部 (邦楽) 谷内喜智香殿
5月17日
- 文芸部 (俳句) 高橋昭子殿
5月25日
- 文芸部 (川柳) 若山大介殿
5月28日

世界遺産の街・ラオスとベトナム

平成二十二年度の第三十八回研修旅行は、十一月二十一日(日)から十一月二十六日(金)までの六日間、世界遺産の街ベトナムとラオスへの旅に決まった。

ベトナムの正式名称はベトナム社会主義共和国。首都のハノイは十一世紀初頭から歴代王朝の首都として繁栄した。市街地区にはホアンキエム湖、一柱寺、文廟などの名所旧跡が多い。また植民地時代に植えられた街路樹がうっそうと茂り、落ち着いた雰囲気を持つ。ハロン湾は石灰岩より成る大小無数の奇形の島が散在し、一九九四年世界遺産に登録された。

ラオスの首都ビエンチャンの北西部に位置するルアン普拉バンは、メコン川左岸の河港都市。一九四五年ルアン普拉バン王がラオス全土の独立を宣言、以後七五年ラオス人民民主共和国が成立するまでラオス王国の王都であった。王都としての長い歴史の

わりに小さく静かな町で、産業の中心地として農産物や林産物を集散するが、近代工業は未発達で、伝統的な漆工芸や金銀細工が盛んである。町の中心部近くにあるプーシーの丘には黄金仏をはじめ仏教寺院が多く、この丘に面しメコン川を背に旧王宮があり、一九九五年世界遺産に登録。今回は中国を少し離れた東南アジアの二国を訪ねる。

《旅程》

◇11月21日(日)

仙台空港13:30アジアナ航



ルアンプラバンの早朝托鉢

空OZ151便にてソウルへ。乗り継ぎ19:20アジアナ航空OZ733便でハノイへ。22:10到着後ホテルへ。

◇11月22日(月)

世界遺産ハロン湾クルーズ。陶器の故郷パッチャン村見学。

◇11月23日(火)

ハノイ発09:00VN869便にて09:55ルアンプラバン到着。その後市内観光。メコン川クルーズでは紙漉き、織物の村、焼物の村を見学。夕方プーシーの丘へ。

◇11月24日(水)

専用バスで托鉢の風景、王宮博物館、クアンシーの滝、モン族の村見学。昼食後ルアンプラバン14:45VN868便にて15:35ハノイ到着。その後ホテルへ。

◇11月25日(木)

出発まで市内観光。一柱寺、ホーチミン廟、文廟、旧市街、

水上人形劇鑑賞、夕食後ハノイ発23:20OZ734便でソウルへ。機内泊。

◇11月26日(金)

ソウル到着05:20ソウル発10:20OZ152便。

仙台空港着12:30、解散。

《ホテル》

ハノイ・フォーチュナホテル

ルアンプラバン・マノラックホテル。

《参加要項》

会費 二十三万五千元

(空港税、燃油サーチャージ、航空保険料込)

定員 三十名(最小催行人員十五名)

申し込み 芸術協会事務局へ

十月二十日までに連絡。

Tel 022(261)7055

○交通機関及び時刻は変更になることがあります。

○定員に達し次第募集を打ちきります。

○申し込み後に不参加の場合

は、応分のキャンセル料を

申し受けます。

けやきの譜

大きい声では言えないが、めったに行かないスパーで鶏卵の安いのに驚いた。十個で百円。高いのはある。だが一個十円は、何年、何十年続いているのだろうか。飼料代や人件費など養鶏にかかる費用が高くなっているにもかかわらず宮崎県で口蹄疫が蔓延し牛や豚十八万頭が処分されたようだ。つまり殺され地中に埋められたのだ。捕鯨反対の勢力があり、マグロの捕り過ぎにも抗議の声。熟慮すれば当然なのかもしれない▼いづれも人間中心の行為。生かすも殺すも人間の利害が判断の基準で、動物の生命に思いを馳せることなどない。だが地球上には六十億を超す人がおり、自然環境や政治形態で貧富の格差がはなはだしい▼日々の生活の中で取捨選択に迫られることは少なくない。目の前の利益に目を奪われたとしても、非難はできない。だが一歩引いて相手を思いやる。もちろん難しい。こんなことを考えるのも切羽詰まっていないからか。

(純)

11月21日 研修旅行の参加者募集

26日